




- と き 令和2年2月2日(日) 13:00~16:00
- ところ 宮城野区中央市民センター 第1会議室
- 参加者 44名 (~10代 17名/20代 5名/30代 6名/40代 2名/50代 5名/60代 6名/70代~ 3名)

~10代 39%	20代 11%	30代 14%	40代 5%	50代 11%	60代 14%	70代~ 7%
-------------	------------	------------	-----------	------------	------------	------------

- ファシリテーター 浜 知美さん (アリティーヴィー(株)副社長/仙台市総合計画審議会委員)
- 内 容

**ラウンドⅠ**

**トーク・タイム** ~話し合い~



「こういう地域になってほしい」「こんなものがあるといいな」と思うまちの姿について、グループごとに 夢やアイデアを出し合い、えんたくん(円形段ボール)に書き込み

テーマ1  
震災の伝承・魅力の発信

テーマ2  
支え合い・安心

テーマ3  
元気・活力

**ラウンドⅡ**


**アート・タイム** ~お絵描き~

**Step 1** まずはシェアしよう!

各グループのイチオシのアイデアを発表し合い、みんなで共有

**Step 2** 絵を描こう!


未来の宮城野区をイメージした自由な発想・夢をかたちにして「1枚の絵」に



**クロージング**

区長のラップ演奏も!

「未来の **miyagino**」の絵を囲んで、おしゃべり&記念撮影!



10年後の宮城野区は、こんなまちになってほしい！  
…参加者の皆さんから、さまざまな夢やアイデアが出されました



## ● 震災の伝承・魅力の発信

～誰に伝える？ どう伝える？ 海辺の魅力をどうつくる？～

### 【震災を伝える！】

- ・ YouTubeなどのメディアやSNSの活用、語り部の育成
- ・ 震災や避難に関するガイドブックの作成
- ・ 被災地を巡るツアーの開催（サイクリングやバスなどで伝承の拠点をつなぐ）
- ・ 市民や観光客向けの避難体験、当時の再現（VRの活用、非常食など）

### 【海辺に新たな賑わいを！】

- ・ 賑わいづくり（花火、カフェ、海水浴、キャンプ、宿泊施設）
- ・ 貞山運河に屋形船を
- ・ 海釣り施設の整備など海辺の活用
- ・ 海辺で震災フェスティバル（夢メッセでのARABAKI ROCK FES、若者向けイベント等）
- ・ 水族館などの集客施設とも連携した被災地&観光ツアーの開催

### 【地域の防災力を高める！】

- ・ 子どもから始める伝承（防災教育、大人にも伝える）
- ・ 仙台市地域防災リーダー（SBL）を通じた伝承、防災力強化
- ・ 避難訓練（定例化、子ども・若者・企業・外国人も一緒に）
- ・ 震災時の課題の整理、AEDの浸透（みんなが誰かを助ける勇気を持つ）



## ● 元気・活力

～これがあれば楽しめる！元気になる！～

### 【楽しいイベントをもっと！！】

- ・ 宮城野通を“歩きたくなる”仕掛けづくり（イベント開催、小さなお店を増やす、歩行者天国、榴岡公園の活用、インスタ映え）
- ・ アートや音楽、食、歴史、伝統文化（史跡巡り、すずめ踊り、七夕など）を楽しめる企画を充実させ、仙台駅東口から海側まで様々な魅力が続くまちに
- ・ 駐車場の整備や交通網の整理、災害対策の徹底など、安心して楽しむことができる環境づくり



## ● 支え合い・安心

～安心して暮らせる地域とは？ 私はこういうことができるかな？～

### 【多様性が尊重され、支え合える地域したい！】

- ・高齢者サポート（買い物などの生活サポート、働きやすい環境づくり）
- ・お祭りや遊びを通じた多世代交流
- ・子育て世代支援（産休・育休後のサポート、夫が育休をとれる環境づくり、子育て関係者のネットワークで支え合い、働く女性への支援）
- ・若者が地域に参画（コミュニティ・センターの活用、学校での地域イベント紹介、子ども110番ツアーで安全に登下校、「学生の日」をつかって自主的にイベントを開催）
- ・外国人との交流（英会話教室や料理教室、オリンピックをきっかけに交流を促進）

### 【みんなで集まる機会をつくろう！】

- ・世代を超えて集える場所をつくる（地域のサロン、公園や貸しスペースの活用、仲介役を通じた横のつながりづくり）
- ・SNSの活用（SNSだけに頼らない）や会議のデジタル化で参加しやすく
- ・認知症予防カフェ、介護予防体操の場など
- ・子どもたちが遊べる場所、相談できる場
- ・駅周辺環境の充実（カフェ設置や駅のバリアフリー化など）
- ・市民協働で「未来を考えるイベント」を継続開催

### 【私はこんなことができる！】

- ・あいさつから始めよう！（自分を知ってもらい、安全安心な地域に）
- ・何でも良いので地域の集まりに参加する（誰もが町内会・自治会の担い手になれるよう、敷居を低くする）
- ・ボランティア活動をする（清掃活動、雪かきなど）
- ・学校での読み聞かせを通じて子どもたちに顔を覚えてもらう



### 【体を動かす機会をつくろう！】

- ・ランナー向けコースやランニングステーションの整備
- ・仙台市陸上競技場や元気フィールドの活用（大運動会の開催、ドームの整備など）
- ・公園の活用（アスレチック、ウォーキングなどができる場所に）



## みんなで描いた「未来の **miyajino**」



参加者の皆さんの想い・夢・アイデアが凝縮した「未来の miyajino」です。

バスツアーのルートマップも！



＝参加者の皆さんからお寄せいただいた感想を一部抜粋してご紹介します＝

- ・宮城野区についてこんなに考えたことはなかった。皆さんと一緒に考えるのは楽しかった。(50代)
- ・皆が宮城野区の活性のためにそれぞれ熱い思いを持っている。考えや意見を絵にするのは楽しかった。(40代)
- ・普段は同世代との会話が多いが、幅広い年代の方との意見交換によって様々な視点で考えることができた。特に被災についての話が心に残り、自分の防災意識も高まったように思う。(10代)
- ・年齢を問わず色々な意見が出て学びが多かった。若い人も被災地への想いがとても熱かった。(60代)
- ・宮城野区の魅力(駅東側も沿岸部も)を再認識した。多世代がいきいきと生活できるまちにしたい。(30代)
- ・地域がより良くなるためにどうすればいいかを考えることが興味深く、いろいろな人と意見を出し合っに絵にしていくなが楽しかった。(10代)
- ・震災を伝承しつつ、若者から高齢者までが健康で安心して暮らせるまちになると良いと思う。(10代)
- ・未来のことを考えて意見を出し合い新しい考えが生まれた。人と人が話し合うことが楽しいと感じた。(20代)
- ・若い方が多く、頼りになると感じた。宮城野区全体が生き生きとしたまちになると良いと思う。(60代)